

～海外派遣職員からのレポート～
自治体国際化協会ソウル事務所 能登晶子

2007年が早くも明けました。2007年は日本の干支ではイノシシ年です。

韓国にも十二支が存在しますが、イノシシはブタになり、韓国では今年がブタ年です。

ブタは韓国では健康と財産を運んでくると言われ、「ブタの夢を見たら宝くじを買え！」という表現もあります。

しかも今年が60年に1度の「赤豚」、600年に1度の「黄金豚」の年とされ、この年に生まれた子どもは財を築くという説まであります。

さて、韓国のお正月は新年ではなく「旧正月(今年は2月18日)」ですが、年末から年始に向けて色々な話題がありました。

それらを新聞記事から2つ、紹介します。

空港列車来年3月開通 仁川空港～金浦空港間37.6キロ 1段階区間

【12月19日京畿新聞】

仁川空港と金浦空港を往来する空港鉄道が来年3月開通する。

国内最初の民間鉄道、空港鉄道(株)は12月18日、仁川空港～ソウル駅全61キロ中、第1段階である仁川空港～金浦空港間37.6キロ区間を来年3月に開通すると明らかにした。

この区間には仁川国際空港、空港貨物庁舎から金浦空港まで6駅が設置され、ケヤン駅で仁川地下鉄1号線、金浦空港駅でソウル地下鉄5号線に乗換えとなる。第2段階である金浦空港～ソウル駅の20.7キロ区間は2010年開通する予定である。

全区間開通までは総事業費3兆1千375億ウォンが投入され、第1段階区間にデジタルメディアシティ、弘大入口、コンドク、ソウル駅など4駅が追加され、全部で10カ駅が入る。

空港鉄道列車は一般列車と直通列車で区分、運営され、第1段階開通期間12分間隔で運行される一般列車は仁川国際空港から金浦空港まで33分かかり、60分間隔で運行される直通列車はこの区間で28分かかる。

第2段階区間が追加され、仁川国際空港～ソウル駅全区間が開通すれば、一般列車は5分30秒間隔で運行され、所要時間53分、直通列車は30分間隔運行で金浦空港駅1ヶ所だけに停車し、所要時間45分となる。

これに伴い料金は1段階区間で一般列車が2千800ウォン、直通列車は7千ウォンとなる。

全区間が開通すればソウル駅に都心空港ターミナルが新設され、すべての手荷物はソウル駅でチェックインでき、搭乗手続など出入国関連手続きを踏むことが出来るとのことだ。

新1万ウォン札、新千ウォン札発行 【1月22日連合ニュース】

1月22日から新しい1万ウォン札と千ウォン札の流通が始まった。

韓国銀行は同日、新紙幣発行記念式を行い、各金融機関に向け新1万ウォン札と新1000ウォン札の供給を開始した。

新紙幣には最先端の偽造防止技術が用いられている。

またサイズも縮小され、科学的、芸術的なデザインで従来よりも明るい色調に仕上げられているのが特徴である。

